第四 普通免許試験問題

制限時間 30分　合格ライン 90点

自己採点（問1～35合1点、問31～35合2点）

1回目	2回目
C－点	3－C 点

※解答・解説　27ページ

次の問題をよく読んで、正しいと思うものには「正」を、誤りと思うものには「誤」を、それぞれ答えなさい。ただし、問91～95のイラスト問題については、(1)～(3)のすべてに正解しないと得点にはなりません。

1回目　2回目

問1　運転中、眠気を感じたときは、すみやかに休息をとるのがよい。

問2　ぬかるみで駆動輪が空回りするときは、アクセルペダルを強く踏むとよい。

問3　交差点付近を通行中、緊急自動車が接近してきたときは、交差点を避け、道路の左側に寄って一時停止しなければならない。

問4　図1の標識のある道路は、「通学路」を表している。

図1

問5　冷却水の量を点検するときは、エンジンを始動してからラジエータキャップを外して行う。

問6　黄色の線の車両通行帯は、進路変更禁止を表している。

問7　濃霧の中を運転するときは、前方がよく見えるように、前照灯を上向きにして運転する。

問8　歩道も路側帯もない道路で駐車するときは、車の左側に歩行者の通行用として、0.75メートルの余地を残さなければならない。

問9　普通免許を取れば、原動機付自転車も普通自動二輪車も運転できる。

問10　右折しようとして道路の中央に寄っている自動車を追い越すときは、その右側を通行しなければならない。

図2

問11　図2の標識は「中央線」を表すので、必ず道路の中央に設けられている。

問12　貨物自動車に荷物を積んで運搬するときは、荷物が転落や飛散しないように、ロープやシートを使って確実に積まなければならない。

問13　タクシーを回送する目的で運転するときでも、第二種普通免許が必要である。

問14　交通巡視員が赤の手信号をしたが、信号機が青を表示していたので、そのまま進行した。

問15　車を運転していて道に迷ったときは、走行中にカーナビゲーション装置の画像をよく見ながら運転するとよい。

問16　狭い道路に自動車を駐車させようとする場合で、やむを得ないときは、歩道へ乗り上げて駐車してよい。

図3

問17　車の長さが10メートルの貨物自動車に、長さが12メートルの木材を積んで運転した。

問18　図3の標識のある道路は、自転車であっても通行してはならない。

問19　60キロメートル毎時でコンクリートの壁に激突した場合は、約8メートルの高さ（ビルの3階程度）から落ちた場合と同じ程度の衝撃力を受ける。

問20　交通整理の行われていない交差点で、左右の見通しがきかないときは、徐行しなければならない。

問21　左右のタイヤの空気圧が平均していないと、空気圧の少ないほうにハンドルが取られる。

問22　車に乗る前には、車の前後に人がいないかどうかを確かめればよく、車体の下まで確かめる必要はない。

問23　運転者がただちに運転できない状態で車から離れても、エンジンをかけたまま非常点滅表示灯を出しておけば、駐車にはならない。

図4

問24　明るいところから急に暗いトンネルに入っても、視力が急激に低下するようなことはない。

問25　図4の標示があるところでは、カーブが急で曲がりにくいので、右側部分にはみ出して通行することができる。

問26　運転者は、たとえ少量でも酒を飲んだら絶対に運転しないという習慣を身につけることが大切である。

問27　横断歩道の直前に止まっている車のそばを通って前方に出るときは、その車の横で一時停止して、安全を確かめなければならない。

問28　通行に支障のある身体障害者が歩いているときは、安全な間隔を保てば、そのままの速度で進行してもよい。

問29　歩行者のいる安全地帯のそばを通るときは、その手前で一時停止しなければならない。

問30　長時間連続して運転していると疲れるので、2時間に1回は運転をやめて、休息をとるのがよい。

問31　普通貨物自動車の荷台に荷物を積む場合、車の幅から横にはみ出してはならない。

問32　図5の標識のある場所では、たとえ少しの間でも車を止めて休息することはできない。

図5

問33　シートの前後の位置は、クラッチ（オートマチック車はブレーキ）ペダルを踏んだとき、ひざがまっすぐ伸び切る状態に合わせる。

問34　原動機付自転車が、片側3車線以上の交差点で青信号に従って右折する場合の方法は、自転車などの軽車両と同じである。

問35　狭い坂道を通行するときは、原則として下りの車が上りの車に道を譲るようにする。

問36　自分本位に無理な運転をすると、自分だけはよくても、他の車や歩行者に大きな迷惑を及ぼすことになる。

C-3-C

問37 ハンドブレーキのレバーを引いてブレーキが効いたとき、さらに少し引ける余裕のある車は整備不良車である。
問38 交差点の信号機が赤色の灯火の点滅信号を表示しているときは、徐行しなければならない。
問39 図6の標識のある道路では、道路の右側部分にはみ出さなければ追い越しをすることができる。
問40 自転車横断帯に近づいた場合、横断する自転車がいないことが明らかでないときは、直前で停止できるように速度を落として進行する。
問41 道路の左側部分に2つの車両通行帯があるときは、左側の通行帯を通行しなければならない。
問42 高速道路で故障などのため車が動かなくなったときは、運転者は、危険防止の措置をとった後、必ず車に残っていなければならない。
問43 交差点の信号が青色から黄色に変わった場合、急ブレーキをかけなければ停止できないときは、そのまま進行してよい。
問44 下り坂を走行するときは、ギアをニュートラルにして、フットブレーキを頻繁に使って下るのがよい。
問45 左側部分に3つの車両通行帯のある道路の交差点で、青色の矢印信号が表示されているときは、黄色や赤色の信号であっても、車はすべて矢印の方向へ進行できる。
問46 図7の標識は、「強い横風があるので注意せよ。」の意味を表している。
問47 高速で走行中は、運転者の視力は低下し、とくに近くのものが見えにくくなるので注意しなければならない。
問48 運転中は、絶えず前方に注意するとともに、ときどきバックミラーなどで、周りの交通にも目を配るようにする。
問49 自動車が、曲がり角で徐行している原動機付自転車を追い越した。
問50 重心が高くなると、車は倒れやすくなるので、荷物はなるべく低く積むようにする。
問51 中型貨物自動車に荷物を積むときの高さの制限は、荷台の高さを含めて地上3.8メートルまでである。
問52 前方に安全地帯があったが、歩行者がいなかったので、その左側を徐行しないで通過した。
問53 図8の標識のある道路は、原動機付自転車は通行できない。
問54 自動車の所有者は、住所などの位置から4キロメートル以内の道路以外の場所に、車の保管場所を設けなければならない。
問55 ブレーキペダルを踏み込んだとき、ペダルと床板とのすき間は、まったくないほうがよい。
問56 前方の交通が混雑しているため、交差点を通過すると交差する道路の通行を妨げるおそれがあるときは、進行してはならない。
問57 ブレーキペダルを踏んだとき、スポンジを踏んだような柔らかな感じがするのがよい。
問58 雨の日の運転は、地盤が緩んでいることが多いので、山道や坂道などでは路肩に寄り過ぎないように注意する。
問59 下り坂で駐車するときは、ハンドブレーキを引いて、マニュアル車もオートマチック車もチェンジレバーをバックに入れておく。
問60 図9の標識は、「横断歩道または自転車横断帯あり」を表している。
問61 ファンベルトの張り具合は、ベルトの中央部を手で押してみて、ゆるみがまったくないのがよい。
問62 横断歩道や自転車横断帯の手前30メートル以内の道路では、前方の車を追い越すため進路を変えたり、前車の側方を通過したりしてはならない。
問63 濡れたアスファルト道路は、乾いたコンクリート道路よりも摩擦力が小さくなるので、停止距離が長くなる。
問64 夜間、対向車の前照灯がまぶしいときは、幻惑されるのを防ぐため、視点を左前方の道路上に移すとよい。
問65 歩行者が横断歩道で進路の前方を横断しようとしているときは、その直前で一時停止して歩行者に道を譲らなければならない。
問66 後車に追い越されるときは、加速してはならない。
問67 図10の表示板のあるところで駐車するときは、パーキングチケットの発給を受け、それを掲示して駐車しなければならない。
問68 一方通行の道路を通行中、緊急自動車が接近してきた場合、その進行を妨げないように、右側に寄って進路を譲ることができる。
問69 路線バスの専用通行帯であっても、小型特殊自動車や原動機付自転車、軽車両は、その通行帯を通行できる。
問70 運転者がシートベルトを締めると、体の自由がきかなくなるので、なるべく外して運転したほうがよい。
問71 乗降のため停止している通学通園バスのそばを通るときは、児童や幼児に注意すれば徐行する必要はない。
問72 車は、一方通行となっている道路では、道路の中央から右側部分にはみ出して通行できる。
問73 長時間、運転を続けていると、運転者が疲労してくるにつれて見落としや見誤りが多くなって危険である。
問74 図11の標識は、「指定方向別通行区分」を表している。
問75 自動車が横断歩道の手前10メートルのところで原動機付自転車を追い越した。

図6

図7

図8

図9

図10

図11

□□ **問76** 交差点で右折するとき、反対方向から直進車が来たが、自分が先に交差点に入っていたので、直進車を停止させて右折した。

□□ **問77** 高速道路を通行するとき、故障などで道路上で停止するときに必要な停止表示器材は、前もって車に準備しておかなければならない。

□□ **問78** 遠心力は、カーブの半径が小さくなるほど大きくなる。

□□ **問79** 片側ががけになっている坂道で、安全な行き違いができないときは、がけと反対側の車が一時停止して進路を譲るようにする。

□□ **問80** 夜間、最終の路線バスが通過したので、バスの停留所で友人を乗せた。

□□ **問81** 図12の標識のある道路でも、原動機付自転車は30キロメートル毎時の速度を超える速度で通行してはならない。

図12

□□ **問82** 大型免許を受けると、大型自動車のほかに自動二輪車と小型特殊自動車を運転できる。

□□ **問83** 乗用自動車で高速走行するときのタイヤの空気圧は、規定圧力よりも10パーセントぐらい低めにするほうがよい。

□□ **問84** 「警戒標識」は、道路上の危険や注意すべき状況などを前もって道路利用者に知らせて、注意を促すためのものである。

□□ **問85** 走行中にタイヤがパンクしたときは、ハンドルを緩く握り、急ブレーキをかけて停止する。

□□ **問86** 普通免許を受けた者は、けん引装置のある車両総重量800キログラムの車をけん引して、運転することができる。

□□ **問87** 運転者は、眠くなるようなかぜ薬を飲んでも、交通量の少ない道路であれば車を運転してもよい。

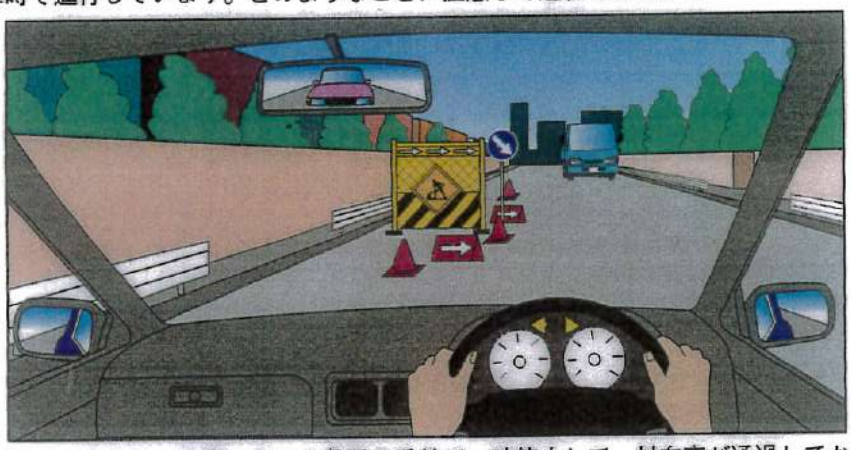
図13

□□ **問88** 図13の標識のあるところでは、右折が禁止されている。

□□ **問89** 普通乗用自動車は、路線バスが通行していないときは、路線バスの専用通行帯を通行できる。

□□ **問90** 信号機のない踏切を通過する場合でも、手前で安全を確認すれば一時停止する必要はない。

□□ **問91** 30キロメートル毎時で進行しています。どのようなことに注意して運転しますか？



□□ (1) 対向車が接近しているので、工事している場所の手前で一時停止して、対向車が通過してから発進する。

□□ (2) 後続車があり対向車までは距離があるので、加速して工事の区間を通過する。

□□ (3) 急に速度を落とすと後続車に追突されるおそれがあるので、ブレーキを数回に分けて踏み、一時停止する。

□□ **問92** 40キロメートル毎時で進行しています。どのようなことに注意して運転しますか？

□□ (1) 前方はカーブになっていて路面の状態が悪いので、原動機付自転車との車間距離を十分にとって進行する。

□□ (2) 原動機付自転車が濡れた路面で転倒するかもしれないので、加速して追い越す。

□□ (3) 対向車が中央線にはみ出してくるかもしれないので、左側に寄り速度を落として進行する。

7-5-7

C-3-C

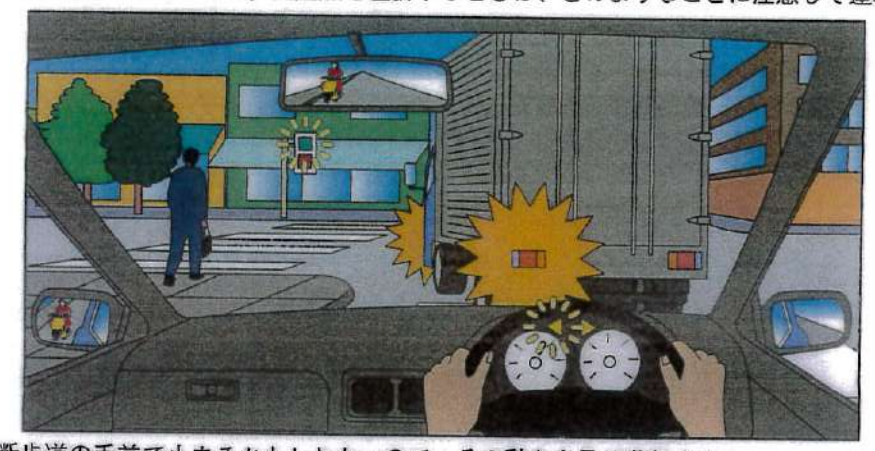
□ □ **問93** 30キロメートル毎時で進行しています。どのようなことに注意して運転しますか？

□ □ (1) 歩行者は傘をさしているため車が近づいていることに気づきにくいので、歩行者の動きに十分注意して進行する。

□ □ (2) 子どもがふざけて車道に飛び出してくるかもしれないので、すぐ止まれる速度で進行する。

□ □ (3) 泥や水を跳ねて歩行者に迷惑をかけても責任は問われないので、加速して進行する。

□ □ **問94** 10キロメートル毎時で進行しています。交差点を左折するときは、どのようなことに注意して運転しますか？

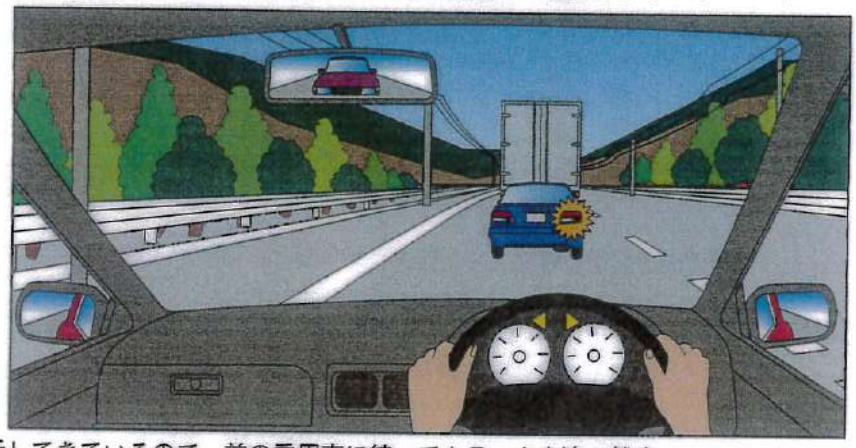


□ □ (1) 前の車は横断歩道の手前で止まるかもしれないので、その動きを見て進行する。

□ □ (2) 二輪車がミラーに写っているが、他の二輪車がミラーの死角にいるかもしれないので、左側を直接目で確かめて左折する。

□ □ (3) 後続の二輪車が自分の車の左側を進行してくると巻き込むおそがあるので、その動きに十分注意して左折する。

□ □ **問95** 40キロメートル毎時で進行しています。どのようなことに注意して運転しますか？



□ □ (1) 後続車が接近してきているので、前の乗用車に続いてトラックを追い越す。

□ □ (2) 前の乗用車が途中で追い越しを中止するかもしれないので、車間距離を十分にとってこのまま進行する。

□ □ (3) 後続車が急に自分の車の前方に出てくるおそれがあるので、割り込まれないように、車間距離をつめる。